

システム情報工学研究科 社会工学専攻社会工学学位プログラム（博士後期課程）

DPPS・専門基礎（選択必修）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02CN051	社会工学ファシリテーター育成プログラムI	3	2.0	1-2	通年	応談		社会工学専攻担当教員	社会工学に関するプロジェクトに積極的に介入し、プロジェクトの進行に寄与できる能力を実践を通して養う。	01CN053と同時実施。
02CN052	社会工学ファシリテーター育成プログラムII	3	2.0	1-2	通年	応談		社会工学専攻担当教員	社会工学に関するプロジェクトにおいて協働のプロセスを管理、展開できる総合的能力を実践を通して養う。	01CN054と同時実施。
02CN053	社会工学インターンシップ	3	2.0	1-2	通年	応談		社会工学専攻担当教員	社会工学に関連する機関でインターンシップを行い実践力を養う。	
02CN054	社会工学特別講義I	1	2.0	1-3	秋学期	集中		モグシユク オレクサnder	シラバスは近日中に公開予定。	西暦偶数年度開講。01CN056と同一。英語で授業。
02CN055	社会工学特別講義II	1	2.0	1-3					計量分析による国際経済比較について講義をおこなう	西暦奇数年度開講。01CN057と同一。
02CN056	社会工学特別講義III	1	2.0	1-3	通年	随時				01CN058と同一。
02CN057	社会工学ファシリテーター育成プログラムIII	3	1.0	1-3	通年	応談		社会工学専攻担当教員	社会工学に関するプロジェクトにおいて、総合的にプロセスを管理できる能力を実践を通して養う。	
02CN058	社会工学ファシリテーター育成プログラムIV	3	1.0	1-3	通年	応談		社会工学専攻担当教員	社会工学に関するプロジェクトにおいて、総合的にプロセスを展開できる能力を実践を通して養う。	
02CN059	社会工学特別講義IV	1	1.0	1-3	秋AB	集中	3E404			開講未定 01CN061と同一。
02CN060	社会工学特別講義V	1	1.0	1-3	通年	集中				開講未定 01CN062と同一。
02CN061	社会工学特別講義VI	1	1.0	1-3	秋C	集中		樋野 公宏	住環境の安全・安心として、防犯などの日常安全、高齢者の安心居住、郊外住宅地のマネジメントについて解説する。	01CN063と同一。
02CN062	社会工学特別講義VII	1	1.0	1-3	春C	集中		モシエ ハヴィフ		01CN064と同一。 7/23-7/25
02CN063	社会工学特別講義VIII	1	1.0	1-3	通年	集中				開講未定 01CN065と同一。
02CN064	社会工学特別講義IX	1	1.0	1-3	秋AB	集中	3E404	高原 勇	水素社会と高度道路交通システムの課題と展望について講義する	01CN066と同一。
02CN065	社会工学特別講義X	1	1.0	1-3	通年	集中				開講未定 01CN067と同一。

DPPS・専門（必修）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02CN001	社会工学博士特別演習I	2	2.0	1-3	通年	応談		社会工学専攻担当教員	指導教員と2名の副指導教員の同席のもと、博士論文に関する計画発表を行い、論文執筆までの見通しを得る。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
02CN002	社会工学博士特別演習II	2	2.0	1-3	通年	応談		社会工学専攻担当教員	学会等において自ら口頭発表を行うことで、研究者として必要なプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身に付ける。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
02CN003	社会工学博士特別演習III	2	2.0	1-3	通年	応談		社会工学専攻担当教員	指導教員と2名の副指導教員の同席のもと、博士論文に関する中間発表を行い、論文執筆までの見通しを得ることで評価を受ける。	社会工学博士特別演習IIIの履修は、社会工学博士特別演習Iの履修に先んじることはない。履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02CN004	社会学博士特別演習IV	2	2.0	1 - 3	通年	応談		社会学専攻担当教員	査読付き学術論文誌に投稿する論文を自ら執筆し、研究者として必要な論文執筆能力を身に付ける。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
02CN005	社会学博士特別研究I	2	2.0	1 - 3	通年	応談		社会学専攻担当教員	審査委員の同席のもと、博士論文における成果の見直しについて発表を行い、論文提出に関して予備審査を受ける。	社会学博士特別研究Iの履修は、特別演習I～IVの履修に先んじることはない。履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
02CN006	社会学博士特別研究II	2	2.0	1 - 3	通年	応談		社会学専攻担当教員	審査委員の同席のもと、執筆した博士論文に関して最終発表を行い、本論文の審査を受ける。	社会学博士特別研究IIの履修は、社会学博士特別研究Iの履修に先んじることはない。履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。

※社会学学位プログラム担当教員

吉瀬章子、秋山英三、有田智一、糸井川栄一、イリチュ美佳、大澤義明、岡本直久、川島宏一、小林寛、近藤美則、繁野麻衣子、鈴木勉、谷口守、張勇兵、堤盛人、中村豊、長谷川洋、藤川昌樹、松橋啓介、繆瑩、村上暁信、米野史健、山野博哉、渡辺俊、渡邊真一郎、雨宮護、安東弘泰、生稲史彦、石井健一、石井儀光、上市秀雄、梅本通孝、大久保正勝、太田充、大西正輝、岡田幸彦、奥島真一郎、甲斐田直子、倉田久、小西祥文、澤亮治、高野祐一、谷口綾子、ターナー、橋本浩良、八森正泰、原田信行、藤井さやか、松原康介、山本幸子、有馬澄佳、近藤文代、阿武秀和、五十嵐岳、牛島光一、折原正訓、黒瀬雄大、佐野幸恵、チャンラアンズン、フドックトリア、三崎広海